予防接種事業

問 **帯状疱疹ワクチンの接種率に対する所見と周知方法について伺う。**

答 接種率は、15・2％、14％と予想よりも低かった。対象者には個別通知を行い、その後、勧奨通知等も実施している。

問 **接種率向上に向けた新たな周知方法を検討しても良いのではないか。**

答 予防接種の重要性や意義など、より効果のある周知方法を模索し接種率向上に取り組みたい。

自立型テレワーカー育成事業

問 **釜石に住みながら他地域の企業から収入を得るテレワークの可能性と、育成と就労の現状と見通しについて。**

答 年齢や性別、子育て中かどうかを問わず公募し、20代から60代まで幅広い参加があった。女性、高齢者、若い世代など、誰もが多様な働き方を選択できる環境づくりを今後も進めていく考えである。

森林病害虫防除緊急対策事業

問 **ナラ枯れ・マツ枯れにおける被害拡大防止の具体的手法と市内管理森林の被害想定、今後の対策費と課題や計画は。**

答 ナラ枯れは現地で伐倒処理し、マツ枯れは伐倒や県施設での処理を実施している。市管理林の被害量は未把握である。県方針に基づき早期発見と駆除を徹底し、補助金と森林環境譲与税で継続対応する。計画は県・森林組合と連携し都度対策をしていきたい。

魚のまち活性化事業

問 **事業の通年開催に係る対応状況とサクラマスの戦略的方向性は。**

答 通年開催に対応するため、希望数量等のアンケート調査を実施している。サクラマスは特定事業者による産学官連携が基礎で、自社の生産物の販売による利益拡大が主たる目的であった。この取組の中で地元にサクラマスを認知してもらい、市民が地域資源であると思えるように取組を進めてきた。

道の駅（仙人峠）管理事務費

問 **年間利用者数約10万人をどう評価し、今後どのように取り組むのか。**

答 利用者数は休憩機能や特産品販売、観光情報発信、季節イベント等を通じ一定の役割を果たしていると評価している。直近の推移を踏まえ10万人突破を目標としたい。今後は特産品ＰＲや売場工夫、ＳＮＳ発信強化、観光施設との連携、緑地広場の活用等により魅力向上と新規利用者の獲得、リピーター増加を図る。

市内各所公園維持管理費

問 **近隣自治体の公園整備を見るとスケートボードエリアの設置やスリーオンスリーバスケットコートが整備された事例がある。これについて当局の認識は。**

答 これらアーバンスポーツの関心が高まっており、これに対応した施設を整備する自治体が増えている。市内の中高生からも要望がある一方で用地確保、維持管理費、周辺への配慮等が課題だが庁内連携して必要な公園機能を検討する。

問 **薬師公園など市内の桜の名所では老木化や倒木の危険性が指摘されているため、今後は予算を確保し専門家の助言を得て計画的に維持管理すべきでは。**

答 市内公園には約４５０本の桜があり、巡視・枯れ枝処理・病害虫確認は、業務委託し、安全確保に努めている。老木化した桜は専門家と状況を確認した上で保存に努め、寿命期にある「ソメイヨシノ」は更新も含め総合的に判断したい。

スポーツ合宿誘致推進事業

問 **合宿誘致などによる「ラグビーのまち釜石」のリブランディングについて。**

答 高校・大学の合宿や小学生の大会など、それぞれの事業を単体で進めるのではなく、関係者と連携し、一連の取組として「ラグビーのまち釜石」のリブランディングにつなげ、継続的に取り組む考えである。

学校給食センター運営事業

問 **給食で使う食材を地域で計画的に生産するため、各部局での連携について。**

リブランディング…企業やブランド、商品などが持つ従来の価値やイメージを、時代やニーズに合わせて再構築したり、一新することで、訴求力や競争力向上を図ること。